

没後五〇年郷土の書聖

鈴木翠軒



令和8年8月8日土—10月4日 日

観覧料

一般310円(240円) 小・中学生150円(120円)

()内は20名以上の団体割引料金

*東三河の小中学生は「はの国」こどもパスポートの掲示により無料

*障害者手帳(ミライロID可)をお持ちの方と付き添いの方1名無料

9月26日(土)は鈴木翠軒の命日のため観覧無料

開館時間 午前9時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

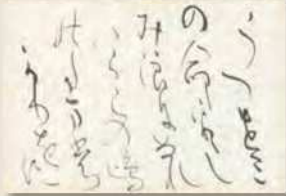
休館日 毎週月曜日※但し9月21日(月・祝)開館、9月24日(木)休館

同時開催

「渡辺華山の生涯」常設展示室、企画展示室2
渡辺華山「仲秋歩月五言律詩」などの作品を展示します。



「万葉一首(巻1-48)柿本人麿歌」(同作品、迎賓館)1974年
ひむがしの のにかぎろひの たつ見えて
かへりみすれば 月かたぶきぬ



「万葉一首(巻1-24)麻統王歌」
([「万葉の歌碑」揮毫元原本) 1961年
うつせみの 命ををしみ 涙にぬれ
いらこの嶋の たまもかりをす

田原市博物館



「新月末離山(碑、高野山) 1963年

没後五〇年 郷土の書聖 鈴木翠軒

鈴木翠軒は、一八八九(明治二十二年)に渥美郡堀切村(現、田原市堀切町)に生まれ、本名を春視、号を翠軒と称しました。

愛知県立第四中学校(現、愛知県立時習館高校)、愛知県立第一師範学校を経て、福江尋常高等小学校(現、田原市立福江小学校)訓導となりました。

一九一六(大正五)年、文部省習字科検定試験に合格を機に上京

(一九一九年)、丹羽海鶴に師事します。一九三二(昭和七)年には、『甲種小学書方手本(国定教科書)の揮毫者』一九三八年完成となり、全

国に翠軒の名が広まりました。戦後は、日展審査員(後に常務理事)な

どの要職を歴任、一九五七年「禅牀夢美人」で日本藝術院賞を受賞、

一九六〇年には日本藝術院会員となり、書道界の指導者としての頂

点に立ち、一九六八年文化功労者となりました。その後、一九七四年に勲二等瑞宝章を受章しましたが、一九七六年八十七歳でその生涯を閉じました。

故郷である伊良湖岬には、一九六一年に麻続王の歌による『万葉の歌碑』が

建立され、一九八七年には生誕一〇〇年を記念して、岬に近い恋路ヶ浜に

『桃源』の書碑も建立されています。

今回の展覧会では、漢字・かな、その他先人の筆蹟を徹底的に追

求し、日本の書の気品ある美しさを謳いあげ、翠軒流とまでいわ

れ、日本書道界の重鎮となった鈴木翠軒の没後五〇年にあたり、郷

土において改めてその書作品や愛用品等を館蔵品を中心に展示

紹介し、翠軒芸術の世界を堪能していただくよう開催します。



鈴木翠軒と万葉の歌碑



「白妙」(「万葉千首」
収納箱揮毫原本)
1965年



「万葉一首(巻3-343)大伴旅人歌」
なかなかひととあらずは さかつばに
なりにてしかも さけにしみなむ



「酔客満船」1960年



落款印



硯



「艶容女舞衣 酒屋の段」津島市教育委員会蔵



筆



- JR・名鉄「豊橋」駅から豊橋鉄道渥美線乗車「三河田原」駅下車、徒歩15分(田原城跡内)
- 豊鉄バス伊良湖本線・支線「田原」駅下車、徒歩10分
- 田原市ぐるりんバス「博物館入口」下車、徒歩3分



ホームページ



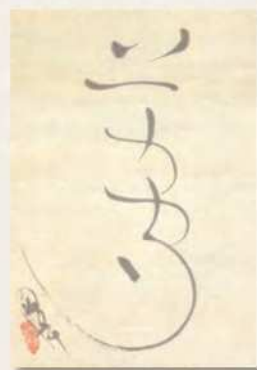
インスタグラム

田原市博物館

〒441-3421 愛知県田原市田原町巴江11-1
TEL 0531-22-1720
<https://www.taharamuseum.gr.jp>



「甲種 小学書方手本
尋常科用 第1学年」1933年



「夢」個人蔵